

2017 年度社会学研究科 Global Project 後期受講生追加募集要項

1. プログラム内容

(1) 目的

立命館大学大学院社会学研究科では、2008 年度より 3 年間、文部科学省の大学院教育改革支援プログラム（大学院 GP）に採択され、「海外大学共同による比較調査研究型教育～アジアと欧米をつなぐ国際的な社会調査研究のスペシャリスト育成～」を実践してきました。その取り組みを継続して、2011 年度からは「社会学研究科 Global Project」を実施しています。

グローバル化が著しく進む今日の世界では、国境を越えたグローバルスタンダードとしての共通性が求められる一方でその地域の文化や現状を理解し、地域的な特性をふまえた社会構築が必要とされています。本プログラムは、この課題に応えるため、欧米社会を反映した現代社会科学の理論フレームを理解しつつ、欧米一辺倒でない社会像やアジアの実態と行く末を考えられる複眼的視野を養い、実践的な調査スキルを備えて国際的に活躍できる人材・研究者を育成することを目的とします。

※詳しくは社会学研究科 HP から参照できます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/gsss/education/gp/introduce.html/>

(2) 内容

本プログラムでは、3 つのプログラム<①履修指定科目の履修 ②メンター制度 ③IPAC における研究成果発表>により、「社会調査メソッドの修得」と「国際的な情報発信能力の養成」を目指します。

①履修指定科目の履修

本プログラムでは履修指定科目を履修することで、国際比較調査に必要となる知識とスキルを修得し、日韓両国で実施する国際比較調査・研究に参加します。履修指定科目は以下の科目の履修を基本とします。

【履修指定科目の一覧】

履修指定科目	開講期間	内容
応用社会学特殊講義 C (SA クラス) 単位数：2 単位	2017 年度 前期	今日のグローバル化の動態やそれを捉えるための基礎理論、およびそのもとの日韓社会の変化を、家族、ジェンダー、文化の諸点から浮き彫りにする講義を英語で実施。15 回の講義は、立命館大学、英国・ランカスター大学、ロンドン大学 SOAS、ライプチヒ大学、韓国・中央大学の教員が主に担当する。また、TV 会議システムにより韓国・中央大学の院生も同時受講する。
応用社会学特殊講義 C (SB クラス) 単位数：2 単位	2017 年度 後期	2018 年度の調査実施を想定し、量的調査とともに質的調査等、習得すべき調査手法の範囲を広げながら、2018 年度調査内容を見通してこれに関連する文献や先行事例の検討を行う。これにより、受講者自らが調査研究に関するプロポーザル（研究計画）が描けるようになることを目的とした授業展開を行う。次年度に調査を共同で行う海外大学（韓国・中央大学等）とは、対面交流あるいは TV 会議システムを通じた事前の研究交流を行い、共同調査に向けた意識の共有化と連携を早期に進める。なお、調査領域・テーマについては、家族、ジェンダー、労働等に関する比較調査やメディア領域の共同調査を想定しているが、受講生の研究領域の実態に応じて、海外の大学と共同研究の連携が可能な他の領域も追求する。

先進プロジェクト研究 (SF クラス) 単位数：4 単位	2018 年度 通年	海外大学と連携して、院生主体の複数の国際比較調査・研究を行う。この調査は 2018 年度中にまとめ、英語による情報発信 (IPAC でのプレゼンテーション等) を行う。
------------------------------------	---------------	--

※各科目内容の詳細についてはシラバスを参照してください。

【履修指定科目の履修期間】

履修指定科目は、2017 年度前期 Semester から 2 年間継続して履修することを基本とします (以下①) が、今回の追加受講生は 2017 年度後期 Semester から履修指定科目の履修を始めることになります (以下②)。

	2017 年度		2018 年度
	前期 Semester	後期 Semester	通年
科目	応用社会学特殊講義 C SA クラス	応用社会学特殊講義 C SB クラス	先進プロジェクト研究 SF クラス
期間			
①	履修	履修	履修
②		履修	履修

※応用社会学特殊講義 C のうち、SA クラスは他研究科在籍者を含め、本プログラムの受講生でなくても履修することができます。また、SB クラスは社会学研究科の在籍者であれば、本プログラムの受講生以外でも履修することができます。

②メンター制度

英語を母国語(母国語ではなくとも同等のレベル)として話す院生の協力により、本プログラム受講者の英語による情報発信、国際調査の指導・援助を行う制度です。2017 年度後期 Semester から、受講生 1 人ひとりについて 1 名のメンターが割り当てられ、電子メールや Skype を通じたリアルタイムのコミュニケーションを日常的に行うことで、実践的な英語運用力を磨きます。

③IPAC における研究成果発表

本プログラム 2 年目に履修する先進プロジェクトでは、韓国・中央大学大学院社会学科共同で設計した調査票にもとづき日韓両国で社会調査を実施します。その成果については、日本と韓国で毎年交互に開催している IPAC (International Postgraduate and Academic Conference) において、英語で発表を行います。IPAC では例年、立命館大学、韓国そして英国等の院生、教員が多数参加し活発な研究交流が行われています。

なお、この IPAC における発表は、「立命館大学大学院育英奨学金」(前期課程 2 回生対象) および「立命館大学大学院博士課程後期課程研究奨励奨学金」(後期課程 1~6 回生対象) の採用者を選考する際に、研究業績として他の国内学会等の口頭発表等よりも高く評価します。

(3) 本プログラムのサポート体制について

本プログラムの受講者を日常的にサポートする部署として、「国際調査・教育センター」が以学館 1 階産業社会学部事務室内に設置されています。国際調査・教育センターでは担当教員が、本プログラム担当教員としてみなさんの履修をきめ細やかにサポートします。履修に関する質問・相談がありましたら積極的に活用してください。また、本プログラムの受講生は、センター内にある専門書籍やノート型パソコンを利用することができます。

2. 応募条件について

次の (1) から (3) の条件をすべて満たす者。

- (1) 2017 年 9 月 26 日時点で社会学研究科博士課程前期課程もしくは後期課程に在学している者
- (2) 本プログラムの参加について指導教員から了解を得ている者
- (3) TOEFL® PBT テスト 480 点以上、TOEFL® CBT テスト 157 点以上、TOEFL-iBT® テスト 54 点

以上または TOEIC®スコア 600 点以上の者（または同等の語学力を持つ者）、もしくは今後、同等の語学力を持つようとする意欲のある者。

3. 募集定員について

若干名

4. 募集期間について

2017年9月26日（火）から10月3日（火）17時まで

5. 応募方法について

「社会学研究科 Global Project 受講申請書」（所定書式）を募集期間内に産業社会学部事務室へ提出してください。

※受講申請書は社会学研究科ホームページからダウンロードできます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/gsss/student/>

6. 選考方法について

書類選考および面接選考

※面接日は個別調整します。

7. 選考結果について

選考結果については10月11日（水）13時にCAMPUS WEBで通知します。

8. 本プログラム受講にかかる費用の補助について

本プログラムの受講に必要な経費については、大学がその一部を補助する場合があります。補助の詳細内容については、産業社会学部事務室（大学院担当）へ照会してください。

9. その他留意事項

（1）科目の受講について

応募者は受講許可前であっても10月2日（月）から始まる履修指定科目「応用社会学特殊講義 C（SBクラス）」の授業に出席してください。また、履修指定科目の受講登録は、許可後、事務室が登録します。

（2）社会調査士・専門社会調査士資格について

本プログラムの受講にあたっては、社会調査士・専門社会調査士の資格を取得していることが望ましいですが、取得していない場合でも受講することはできます。ただしその場合は、本プログラムの受講と合わせて、社会調査士・専門社会調査士の資格課程に所属し資格取得に必要な科目を履修することを推奨します。

（3）保険への加入について

海外実地調査を実施する場合は、受講者には保険に加入していただきます。詳細は別途案内します。

<お問い合わせ先>

産業社会学部事務室（大学院担当）まで相談してください。

TEL : 075-465-8185

E-mail : sanshajm@st.ritsumei.ac.jp

以上